

バロー関西へ出店攻勢

トーホーストアの13店舗譲り受け

バローホールディングス(HD)は、関西への出店攻勢を強める。トーホーの子会社で兵庫県で食品スーパーを展開するトーホーストア(神戸市)の13店舗を100%子会社3社が譲り受け、ドラッグストアや食材専門店として開業する。大阪府枚方市には関西で初となる物流センターを新設し、2024年10月の稼働を目指す。ドミナント(地域集中出店)による積極出店で、関西5府県(大阪、京都、兵庫、奈良、和歌山)の売上高を23年3月期の約260億円から、27年3月期に500億円まで引き上げる目標を掲げる。

(松浦健司)

大阪に物流拠点新設へ

バローHDは23日、グループ会社がトーホーストアの全29店舗のうち13店舗を譲り受ける契約をトーホーと結んだと発表。12月から

店舗ごとに譲受を始め、来年11月末をめどに完了する予定。トーホーストアの社員はバローHDとトーホーのグループ会社で原則受け

入れる。譲受額は約3億8500万円。

13店舗のうち、8店舗は中部薬品(多治見市)が開するドラッグストア「Vドラッグ」として出店。3店舗は生鮮食材専門店の営む八百鮮(大阪府吹

田市)、2店舗は生鮮食材専門店を営むヤマタ(同市)が譲り受ける。Vドラッグは兵庫県で初出店となる。

新物流センターは、チルド、氷温、冷凍、ドライ食品を扱い、関西エリアに効率的に商品を供給する拠点を高める。

として整備する。投資額は非公表。

バローHDのグループ全体の店舗数は9月末時点で1327店。このうち滋賀県を除く関西5府県は79店舗にとどまる。今後はドミナント戦略で関西の出店比率を高める。